

公開講座 舞台設備をつくる

劇場技術の現在と将来 ～ 舞台設備の設計・施工を考える ～

劇場の在り方を左右する重大な要素のひとつである舞台設備についてのレクチャー
舞台設備の専門家や舞台設備設計施工の現場担当者を招いて学ぶ3日間

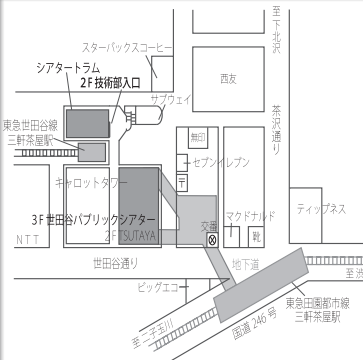
劇場の新築・改築・改修では、意匠設計に加えて、舞台設備が大きな比重を持ちます。劇場全体を設計する建築設計に対し、舞台設備設計施工は、劇場の設立意図への適合はもちろんのこと、利用者側の立場からその劇場にふさわしい舞台機構や舞台照明、舞台音響の設備を設計施工します。

その舞台設備設計施工で問われている技術はどういうもののでしょうか？そして、その技術は将来、どういふ変遷を遂げていくのでしょうか？

舞台設備の実際を一通り学べる3日間です。

24 日 (金) 舞台音響	25 日 (土) 舞台照明	26 日 (日) 舞台機構
13:00 講座開始		
コンサルティングの視点から見る舞台設備設計施工		
劇場設備設計施工に欠かせない存在である舞台設備の専門家によるレクチャー		
稲生 真 (いのうまこと) 永田音響設計取締役プロジェクトチーフ。 「新国立劇場」「まつもと市民芸術館」「吉祥寺シアター」「新杉並公会堂」「東京芸術劇場」「富士オーバードホール」「秋吉台国際芸術村」「山口情報芸術センター」など 200 館以上の音響設計や舞台音響設備設計を担当。音響技術のみならず、舞台運営を中心とする活発で使いやすい劇場・ホール造りをめざす。	服部 基 (はっとりもと) 舞台照明家。 吉井運造、沢田祐二両氏に師事。 1986 年、(南)ティンカンパニー一から組立。 二期会、日本オペラ振興会など数々のオペラ、こまつ座、地人会、新国立劇場作品など多くの演劇作品の照明デザインに携わるとともに、劇場設計コンサルタントを務める。主なものとして「新国立劇場」「大田文化プレイス」「形の国さいたま芸術劇場」「日田市創造センター」「まつもと市民芸術館」「日田市総合文化施設」など。	草加 叔也 (くさかとしや) 劇場・ホールなど演出空間を中心に基本構想から施設計画、管理運営計画など劇場コンサルタントとして「銀座セゾン劇場」「森下スタジオ」「福岡シティ劇場」「新潟市民芸術文化会館」「長久手町文化の家」「国立劇場おきなわ」「兵庫県立芸術文化センター」など各地の劇場施設づくりに関わる。また、ピーター・ブルック、ピナ・バウシュなどの演出作品の日本公演に技術監督としても携わる。現在、劇場コンサルタント／空間創造研究所代表。その他、社団法人劇場演出空間技術協会理事など。
市来 邦比古 (いちきくにひこ) 舞台音響家。 世田谷パブリックシアター音響課長、日本舞台音響家協会副理事長。 設計コンサルタント、専門委員を務めた施設は、「世田谷パブリックシアター」「長久手文化の家」「可見市文化創造センター」「北九州芸術劇場」「山口情報芸術センター」「まつもと市民芸術館」「福井まちなか文化施設」「日田市総合文化施設」など。	西村 充 (にしむらみつる) 舞台照明家。 世田谷パブリックシアター照明課長。 世田谷パブリックシアターの、劇場管理・運営に携わった後、多ジャンルの舞台照明デザインも手がけている。また「東急文化村オードリー・シアター・コクーン」のアシスタントアドバイザーを手始めに、以後「世田谷パブリックシアター」「碧南市文化センター」「北九州芸術劇場」「福井まちなか文化施設」「いわき市文化交流施設」等の照明コンサルティングを務めている。	眞野 純 (まのじゆん) 世田谷パブリックシアター技術部長。 技術監督としても活躍中。 「世田谷パブリックシアター」「新国立劇場」などのアドバイザーを担当。そのほか、現在も様々な劇場のコンサルティングを務めている。
14:00 現場から見る舞台設備設計施工		
実際に舞台設備設計施工を行う現場担当者をゲストに招いて行うレクチャー		
不二音響株式会社 パナソニックSSマーケティング株式会社 ヤマハサウンドテック株式会社	東芝ライテック株式会社 株式会社松村電機製作所 丸茂電機株式会社	カヤバシステムマシナリー株式会社 三精輸送機株式会社 森平舞台機構株式会社
17:30 まとめ		
18:30 終了		

日 時 2006年3月24日(金) 舞台音響
25日(土) 舞台照明
26日(日) 舞台機構 各日13:00～18:00
場 所 世田谷文化生活情報センター内 生活工房セミナールーム(キャロットタワー5F)
募 集 各日 定員60名
対 象 ・舞台技術スタッフ、または舞台技術スタッフを目指している方
・劇場の設備設計、施工に携わる方、またはそれを目指している方
・舞台技術や舞台設備、劇場建築に興味のある方等、一般の方もお申込みいただけます
申込受付 2006年2月1日(水) 受付開始 ～ 定員になり次第×切
申込方法 Faxあるいは往復はがきにて受付 ※詳しくは本書裏面を参照してください
参加費 単日3,000円(当日清算)／3日間通し8,000円(振込のみ)

お申込み／お問合せ 世田谷パブリックシアター 技術部 舞台技術者養成講座 係 〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 2F Tel : 03-5432-1522 / Fax : 03-5432-1529 http://www.setagaya-ac.or.jp/sept/	
主催：財団法人 せたがや文化財団 助成：財団法人 地域創造 協賛：カヤバシステムマシナリー(株)／ TOA株式会社／丸茂電機株式会社	

公開講座 申込書 (Fax 用)

以下の項目をすべて記入し、Fax で送ってください。

Fax をお持ちでない方は、かならず往復はがきにてお申込ください。

カナ 氏名	年齢	性別
〒 住所		
Tel		Fax
職業／所属 (団体名、学校名、会社名等)		
舞台経験の有無 (○をつけ、有の方は分野と年数を記入してください)		
有 (経験分野 / 経験年数)		無
受講希望日 (○を記入してください)		
3/24 (金)	3/25 (土)	3/26 (日)
コピーしてお使いください。		

Fax 申込先：03-5432-1529

世田谷パブリックシアター 技術部 舞台技術者養成講座 係

公開講座 申込はがき記入例

以下の記入例を参考に、往復はがきにすべての項目を記入し、郵送してください。

(復)	(往)
	
	
	
	
	
貴 氏 名	貴 住 所
① 氏名 ② 年齢 ③ 性別 ④ 郵便番号／住所 ⑤ 電話番号 ⑥ 職業／所属 (団体名、学校名、会社名等) ⑦ 舞台経験の有無 (経験分野／経験年数) ⑧ 受講希望日	

往復はがき 申込先：

〒154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 2F

世田谷パブリックシアター 技術部 舞台技術者養成講座 係